

平成23年度 経営協議会学外委員からの意見に対する対応状況

	経営協議会	学外委員からの意見	本学の対応状況
1	第40回経営協議会 (23.6.24開催)	リーディング大学院について、 本学はオンリーワン型、複合領域 型のいずれでも進めることが可 能。採択を目指し、申請してほし い。	クリーンエネルギー研究センタ ー及び燃料電池ナノ材料研究セン ターを中心とした「グリーンエネ ルギー変換工学」プログラムで、 オンリーワン型に申請することと した。
2	第41回経営協議会 (23.9.28開催)	地域と連携した寄附講座の設置 には期待ができる。これからの地 域医療は、医療費抑制の面からも、 予防医療が大切になるのではない か。	既に設置している寄附講座の継 続も含め、今後も地域と連携した 寄附講座の設置を推進していくこ ととした。
3	第43回経営協議会 (24.1.19開催)	<p>生命環境学部の説明対象を、今 後文部科学省から高等学校の教 師・生徒に移し、わかりやすい説 明を行う必要があり、キャッチフ レーズを作るなどの工夫も必要で ある。また、高等学校訪問を行う 際には、当該教員が所属する学部 だけでなく、他学部についても説 明できるようにしていただきたい。</p> <p>今回のリーディング大学院の公 募では、高い競争率の中、山梨大 学が採択されたことは、山梨大学 の内容が突出した素晴らしいもの であったということ。今後は、優 れた学生を輩出するための教育が 非常に重要であり、また、厳しく 評価されることになる。世界に羽 ばたく学生達の教育に、力を注い でいただきたい。</p>	<p>教育人間科学部と工学部の改組 及び生命環境学部の開設につい ての情報発信に際しては、高校生や 教師に十分理解してもらえよう 内容に配慮することとした。</p> <p>また、高等学校訪問時における 説明方法等についても、説明者の 人選を含め、対応を検討すること とした。</p> <p>本学では、責任を持って教育プ ログラムを実践し、世界に通用す る優れた人材の輩出という目標達 成に向け、着実に取り組みを進め て行くこととした。</p> <p>また、本プログラムを核として、 大学の国際化を推進して行くこと とした。</p>